

私が編集委員に加えていただいて，最初の「あとがき」となります．月1回開催される編集会議に出席していると，編集委員の先生方や編集部の方々の「臨床外科」をさらにパワーアップさせたい，よりよい情報を読者の方々に届けたいという熱い思いを感じずにはられません．小生も微力ながら貢献できればと思っております．

さて，本号の特集は「医療経済からみた大腸癌化学療法」です．医療経済に関して様々な議論がなされている昨今，2011年の冒頭を飾るにふさわしい企画と思います．小生が医師になった頃は（小生だけかもしれませんが），大腸癌化学療法に限らず，どんな治療法でも自分が行っている内容に一体どのくらい費用がかかるのかについては関心すら持っていなかった記憶があります．それだけ医療側は費用を気にせず治療を行っていたし（行うことができた），患者側も皆保険制度のもと，何はともあれ受け入れていたということでしょう．それではなぜ今，「医療経済からみた」が必要なのでしょう．第一に，ご承知のように医療費が高騰し，国の財政そのものを圧迫しだしていることと，それを支える財源が逼迫していることが挙げられます．また，なぜ「大腸癌化学療法」なのでしょう．効果は得られるけれども非常に高額な薬剤が普及しだしたからでしょう．

本文中にもありますが，薬剤費が1,000万円を超える例もあるとのこと，外科医からするとつい手術費と比較してしまい，やっぱり高額だと感じてしまいます．効果があるので継続性があり（患者さんの予後が延長する），総計で高額になってしまうのだそうです．最近では単なる予後の延長ではなく，生活の質も問われており，その指標が質調整生存年（quality adjusted life year：QALY）で，1QALYを得るための費用が増分費用効果比（incremental cost effectiveness ratio：ICER）です．欧米においてはICERの上限はほぼ500万円とされているようです．日本においてはまだ定まってはいないようですが，少なくとも医療側も，このようなことを念頭に置いて治療を行うべきであるということを本特集は伝えてくれています．

それにしても，わが国の手術料のまだまだ安いことか（もちろん外保連の働きで改善しています）．はじめての「あとがき」ですが，外科医のぼやきで終わってしまい恐縮です．

（瀬戸泰之）

## 臨床外科（第66巻第1号）

発行 株式会社 医学書院  
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23  
☎ 社内案内 (03) 3817-5600  
販売部直通 (03) 3817-5659・5660  
振替口座 00170-9-96693 番

2011年1月20日発行（毎月1回20日発行）

定価 2,730 円（本体 2,600 円＋税 5%）

2011 年年間購読料  
冊子のみ 40,160 円 冊子＋電子版 52,200 円  
電子版/個人 40,160 円 電子版/共有 46,190 円  
増刊号を含む 13 冊，税込，送料小社負担

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708  
ファクシミリ (03) 3815-7802  
E-mail：ringe@igaku-shoin.co.jp  
担当 田村・川村・安部  
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005  
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています．
- ・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)  
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています．複写される場合は，そのつど事前に，(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください．
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です．
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です．